



高耐電力用電波吸収体

電波吸収体により吸収された電磁エネルギーは熱エネルギーに変換されて電波吸収体を加熱します。

吸収体の温度が高くなると、一般の電波吸収体は主に有機物で構成されているので熱分解を起こして可燃性のガスを発生します。さらに温度が上昇するとこの可燃性ガスが発火して燃焼します。

この観点からは、大きな電力密度にさらされる電波吸収体は燃焼ガスが発生しないように無機物で構成されるべきです。

弊社のHP-26やHP-3は無機物で構成されているので万が一に、想定される以上の強い電波が照射されて、非常な高温になっても全く燃焼することはありません。

一方、無機物で構成された電波吸収体は硬い、質量が大きいなどの取り扱いが難しい面を有しています。

HPG-12はより取り扱いを柔軟にすべく開発されました。無機物であるグラスウールを基材に用いて軽量化するとともに、有機物の使用をごく微量に押さえました。この結果、事実上燃焼することが無く、柔軟で軽量の耐電力電波吸収体を実現しました。

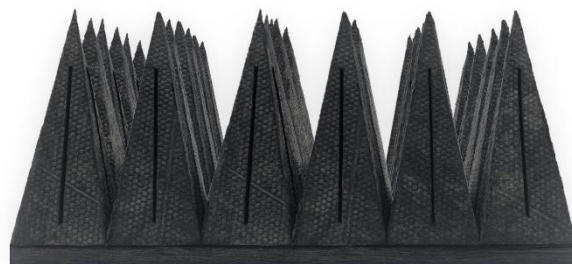
HPG-12

標準寸法	600x600xH300mm
寸法精度	600(-0/+5mm);H300(-0/+15mm)
ピラミッド数	6x6=36 (山)
標準質量	2.5 kg
難燃性	UL94V-0相当
耐電力	1.5W/cm ² 以上
※300x300xH300mmも販売しております。	

寸法 (幅×奥行) (mm)			opt番号
400	×	400	Opt001
200	×	400	opt002
400	×	200	
200	×	200	opt003
※取付けパネル・ネジ含む			

吸収性能

1GHz	3GHz	5GHz	9GHz	18GHz
30dB	35dB	35dB	42dB	45dB



壁面に接着により直接に取り付けるほか、必要に応じてパンチングメタルなどに取り付けて出荷することにも対応いたします。

保証事項

電波吸収体が加熱される部位や温度は照射電波の周波数や使用状況により大きく変化します。ご使用に際してはお問い合わせください。性能向上の為、仕様を変更する事があります。